

2月14日(水)は、上田先生による道徳科の研究授業でした。内容項目は4つの視点のうち、「B:主として人との関わりに関すること」の「(9)友情、信頼」でした。第3学年及び第4学年の「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと」の指導の要点を踏まえ、教材文「絵葉書と切手」をもとに自分の立場を決め、意見を出しながら学習をしました。本時の授業と事後研究の様子をお知らせします。

主題名 「信頼のきずなを深めるために」(「絵葉書と切手」 あかつき教育図書)
4年1組 上田 美緒 先生
本時のねらい: 料金不足を伝えることを決めたひろ子の思いについて考えることを通して、友を心から信頼しようとするのが真の友情であることに気づき、友達との信頼のきずなを大切にしようとする道徳的心情を育む



料金不足を友達に伝えるか、伝えないか自分の立場を決めて理由を書いています。



自分だったらどうするのか、理由をつけて自分の考えを伝えています。

上田先生による授業のリフレクション

自分の立場を決めて話し合わせる際、反対の意見の児童同士で話し合わせたり、切り返しをしながら深めていく手段などたくさんご意見いただき、勉強になりました。対話のさせ方がパターン化しないように、今後の授業の創り方を考えていきたいと思いました。

授業参観の視点(2点)に沿ってグループで協議を行い、全体共有しました。(抜粋)

- 1 道徳授業として、主体的・対話で深い学びを実現する学習活動を設定
- 2 道徳的価値(指導内容)の理解を基に自己を見つめ、多面的・多角的に捉え、自己の生き方についての考えを深めるための手立てや働きかけ
 - ▼事前のアンケート結果を提示することで、本時で自分との関わりで考える材料となっていたが、アンケート結果を円グラフや棒グラフ、多い意見を見やすくするなど ICT を活用し、提示の仕方を工夫できるとよかった。
 - 実際の絵葉書を準備して料金不足の意味を確認し、その料金不足を子ども達が支払うことを投げかけることで、子ども達の素直な反応がみられたり、教材文につなげたりすることができて良かった。
 - 2つの意見を対比させ、2つの意見に対して自分の立場が分かる板書の工夫が良かった。
 - 自分の立場を決めさせて、明確にしながら、なぜそう考えたのか理由を考えさせていたことが良かった。
 - 行為行動を問うのではなく、その判断の根拠を問う発問が良かった。
 - ▼丁寧で分かりやすい発問ではあったが、順を追いつぎて時間がかかっていたため大きく発問をしたり、子どもの思考にゆさぶりをかけたり、自分事として考えたりする切り返しの発問をするとよかった。
 - ▼友だちの意見を聞いてどう思うか、また、立場が変わるところをつくってもよかった。
 - ▼自分の考えを深めるためには、対話のさせ方を色々なパターンで行うことが必要ではないか。
 - 自分の考えを深めるために
 - ・自分事で考えることが大事。最初の導入で「自分だったらどうするのか」立場を決めておき、教材文を通して自分はどうするのか二度考えさせてもよかったのではないか。
 - ・母と兄で、ちがう立場の人にどう思うか、教師が指名して話し合わせてもよいのではないか。
 - ・切り返しは、途中ですぐに入れる。
 - ・「議論する道徳授業」を創るためには、共感だけで進めるのではなく、相互の意見をクロスする場面をつくっていく必要がある。⇒高学年の考えを議論・討論できる道徳授業につながる。
 - ▼自分たちの生活場面、自己を見つめるには、振り返りの時間が必要ではなかったか。
 - ▼時間配分の吟味が必要であった。
 - 導入や母や兄の考えの共感場面を短くし、時間内にねらいに迫れるようにする。(主要発問につなげる)

上田先生の道徳の授業では、多面的・多角的に捉えるために、学習展開、板書、準備物などの工夫による手立てがたくさんありました。自分の考えを深めるために発問、対話のさせ方を考えながら、自己を見つめ、自己の生き方につながる道徳の授業づくりを目指していきたいと思いました。

◆道徳科の目標◆

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度**を育てる。



今年度は、見て見て授業や研究授業の中で道徳の授業についても互いに参観しながら進めることができました。また、令和3年度からの3年間にわたって「高知の授業の未来を創る」推進プロジェクト実践研究協働校事業における6教科(国語、算数、体育、理科、社会、外国語)について研究を進めてきました。

これまでの研究、授業実践を来年度の授業実践にもつなげていきましょう!